

関係者様各位

天台寺門宗 総本山三井寺  
一般社団法人 匠文化機構

## 記者会見のご案内

宗祖智証大師生誕 1200 年記念

井浦新写真展 「三井寺鑽仰（みいでらさんごう）」

このたび、総本山三井寺において奉修される宗祖 智証大師生誕 1200 年慶讃大法会の記念事業  
井浦新写真展「三井寺鑽仰（みいでらさんごう）」に関する記者会見を以下の通り開催いたします。

■日 時：

10 月 19 日（日） 10：30～12：00

■会見会場：

〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町 246 番地 三井寺事務所 2 階 講堂

※ 尚、写真展の会場は、西国第 1 4 番札所・観音堂書院です。

■予 定：

10：00-10：30 受付

10：30-10：40 天台寺門宗総本山三井寺 執事長 福家俊彦師による説明

10：40-10：50 一般社団法人匠文化機構 代表理事 井浦新氏による説明

10：50-11：00 質疑応答

11：00-12：00 写真展会場にて先行特別公開

写真展の一般公開は、当日 13 時より開始いたします。

※当日 14 時より、三井寺事務所 2 階講堂において、「井浦新 写真展『三井寺鑽仰』を語る」と題して、  
井浦新氏と総本山三井寺執事長の福家俊彦師による対談を行います。

## 【写真展概要】

期 間：平成 26 年 10 月 19 日（日）13 時 ～11 月 24 日（月・祝）

時 間：9 時 ～16 時 30 分（16 時受付終了）

場 所：三井寺観音堂 書院

料 金：無料 ※ただし三井寺山内の拝観料は別途必要です。

主 催：天台寺門宗 総本山三井寺

協 力：一般社団法人 匠文化機構

## 【主旨】

天台寺門宗の総本山三井寺では、宗祖・智証大師のご生誕 1200 年という節目の年を迎え、本年 10 月 18 日から 11 月 24 日まで「宗祖智証大師生誕 1200 年慶讃大法会」を奉修します。

井浦新写真展「三井寺鑽仰」は、この大法会を記念して行われるもので、10 月 19 日から 11 月 24 日まで西国第 1 4 番札所・観音堂書院において開催されます。

俳優の井浦新氏は、芸術・文化に造詣が深く、京都国立博物館文化大使に就任され、また日本の伝統文化・芸術・芸能の活性化や、伝統文化や工芸にたずさわる人材の育成や活動のサポート、および日本各地に伝承される祭りや行事のアーカイブス製作に取り組むなど、日本文化の美や心を広く伝えることを目的に一般社団法人匠文化機構を立ち上げ、文化活動に励まれています。

ことに写真を通じて、伝統文化の真価を広く伝えるための活動に励まれ、ご法縁をいただいた三井寺には、昨年自らカメラを手に何度も訪れられ、重要文化財に指定された訶梨帝母倚像、護法善神立像などの普段は拝する機会の少ない仏像や三井寺での法要・行事、境内の四季折々の風景などを撮影されてこられました。

本写真展は、三井寺で撮影された作品から「自然・文化・歴史」をテーマに厳選し、その珠玉の作品群で構成されています。

是非とも、井浦新氏の世界をご堪能いただければ幸いです。

## 【撮影対象（一部）】

- ・護法善神立像 平安時代（12 世紀） 重文
- ・訶梨帝母倚像 鎌倉時代（13 世紀） 重文
- ・十一面観音立像 平安時代（9 世紀） 重文
- ・採燈護摩
- ・智証大師御逮夜法要
- ・三井の晩鐘
- ・闍伽井屋
- ・観月舞台

※作品点数は 40 数点を予定。

### 【総本山 三井寺】

三井寺は、琵琶湖を望む滋賀県大津市にある天台宗の総本山。正式には「長等山園城寺（おんじょうじ）」と称し、7世紀に天智天皇ゆかりの寺として創建されました。古来より近江八景「三井の晩鐘」で知られ、ことに現在では桜の名所として滋賀県を代表する景勝の地として親しまれています。

第5代天台座主となった智証大師円珍（814～891年）によって天台別院として中興、平安時代以降、「本朝四箇大寺」のひとつに数えられる大寺へと発展します。長い歴史のなかで再三の兵火にみまわれ変転を繰り返すが、源氏をはじめ足利氏や豊臣・徳川両氏によって復興され、現在も35万坪に及ぶ広大な境内には、国宝・重要文化財の堂塔社殿が建ち並び、智証大師ゆかりの秘仏や宝物をはじめ八百点をこす貴重な文化財を伝えています。

### 【観音堂書院】

西国第14番札所・観音堂の書院で、元は京都嵯峨にあった旧村雲御所の書院。村雲御所は、文禄5（1596）年に豊臣秀次の生母（秀吉の姉）日秀尼により秀次の菩提を弔うため後陽成天皇から瑞龍寺の寺号を賜り創建された。昭和36（1961）年に京都から秀次ゆかりの滋賀県近江八幡市の八幡山に移転する際、当山が書院をもらい受け、昭和40（1965）年に移築したものである。

### 【智証大師円珍の略歴】

智証大師円珍和尚は、天台宗を開創された伝教大師最澄、その後を継いだ第3代座主・慈覚大師円仁とともに「天台三聖」の一人に数えられる平安時代を代表する高僧です。

大師は、弘仁5（814）年に現在の香川県善通寺市で生まれ、15歳にして比叡山に登り、天台宗の僧侶としての道を歩み始めます。25歳のとき、比叡山で修行中に日本三不動のひとつとして著名な黄不動尊（金色不動明王）を感得され、また、修験道の開祖・役行者の跡を慕い大峯・葛城の両峰で修行され、修験道を中興、本山派修験の始祖と仰がれています。

40歳のときに唐の国に渡られ、6年間にわたって各地を遍歴し、名僧碩徳を訪ね、天台山では天台教観を学び、長安・青龍寺では法全和尚から密教の大法を伝授され、多くの經典類をたずさえて帰国されました。帰国後は、第5代天台座主に任じられ、三井寺を中興して初代長吏として78歳で入滅されるまで多くの人びとの尊崇をあつめ、日本仏教の興隆に尽くされました。

延長5（927）年には、その遺徳を称え、醍醐天皇より「智証大師」の諡号が贈られました。

### 【井浦新 プロフィール】

1974年9月15日生まれ、東京都出身。

俳優・クリエイター・京都国立博物館文化大使。

一般社団法人匠文化機構代表理事。

1998年に是枝裕和監督の映画『ワンダフルライフ』で俳優としてのキャ



井浦 新 (C) テンカラット

リアをスタート。以降、映画を中心にドラマ、ナレーションや雑誌の連載など幅広く活動。主な映画出演作品に『ピンポン』、『実録・連合赤軍あさま山荘への道程』、『空気人形』など。

2012年には、第65回カンヌ国際映画祭招待作品『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』（若松孝二監督）や第62回ベルリン国際映画祭 国際アートシアター連盟賞をはじめ数々の映画賞を受賞し、『かぞくのくに』（ヤン・ヨンヒ監督）など世界でも評価の高い作品に出演。異なる二つの役柄を演じ、第55回ブルーリボン賞助演男優賞を受賞。

TVドラマでは、NHK スペシャルドラマ『最後の戦犯』、NHK 土曜ドラマ『チェイス～国税査察官～』、NHK 大河ドラマ『平清盛』、CX ドラマ『蜜の味』、『リッチマン、プアウーマン』、2014年7月からは、TBS 木曜ドラマ『同窓生 ～人は三度恋をする～』に主演。

また、NHK『日曜美術館～温故知新！』、NHK BS プレミアム『極上 美の饗宴』、NHK BS『男前列伝』、TX『美の巨人たち』など文化、歴史、美術といった番組にも精力的に参加。2013年4月からNHK『日曜美術館』の司会を担当している。2012年12月22日から2013年3月3日にわたり、箱根彫刻の森美術館にて写真展『井浦新空は暁、黄昏れ展 -太陽と月のはざままで-』を開催。

2013年7月、日本の伝統文化を広く伝えるサポート活動をおこなう一般社団法人 匠文化機構を立ち上げ、現在は、日本の祭りや風土、伝統文化の写真を撮り広く伝える活動や、伝統工芸の物づくりのデレクションに取り組む。

#### 【お申し込み先】

参加希望の場合は、下記内容を、電話、FAX 若しくはメールにてご連絡ください。

・ 貴社名 ・ 参加人数 ・ ご連絡先

#### 【お問合せ先】

〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町2-4-6

総本山 三井寺 担当：角（スミ）

電話：077-522-2238 FAX：077-522-2221

メール：[saigoku14@apricot.ocn.ne.jp](mailto:saigoku14@apricot.ocn.ne.jp)

#### 【関係サイト】

写真展特設HP：<http://miidera1200.jp/exhibition/>

三井寺HP：<http://www.shiga-miidera.or.jp/>

匠文化機構HP：<http://takuminokoto.com/>